

ノース・ダコタ州：小麦作柄と気象状況

2003年6月24日

2003年6月22日現在：

全州で気温が上昇し、6月22日に終わる1週間の最高気温は84～92度Fとなった。平均気温は平年を2～5度F上回った。降雨は州東部に集中した。1週間の州平均農作業日数は、5.9日であった。州南西部及び中央部で強い熱風が吹き土壌水分を減少させたが、全州としては、過去5年平均より良い状態を保った。北西地区では grasshopper の蝕害が報告された。

6月22日現在、硬質春小麦は41%の圃場にて穂孕み期に入り（昨年同期：6%、平年：10%）、17%で出穂した（昨年同期：6%、平年：11%）。デュラム小麦の15%の圃場が穂孕み期と成り（昨年：6%、平年：10%）、6%の圃場にて出穂した（昨年：0%、平年：2%）。硬質春小麦並びにデュラム小麦共に例年より早い進捗を示している。両小麦共に作柄は良好であり、“Excellent”に評価される圃場が前週より増加した。小麦は特に土壌水分を必要とする時期にある。

土壌水分：

Topsoil

	Very short	Short	Adequate	Surplus
This week (%)	2	8	77	13
Last week (%)	1	5	82	12
Last year (%)	11	18	61	10
Average (%)	2	7	75	16

Subsoil

This week (%)	2	12	75	11
Last week (%)	2	12	76	10
Last year (%)	6	22	64	8
Average (%)	2	11	73	14

Average: 1998～2002年平均

小麦進捗状況：

	This week	Last week	Last year	5-year avg.
Durum				
Jointing (%)	47	23	22	33
Boot (%)	15	3	6	10
Headed (%)	6	0	0	2
HRS wheat				
Jointing (%)	71	46	52	62
Boot (%)	41	15	23	32
Headed (%)	17	1	6	11

次ページに続く。

小麦作柄状況：

	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent
Durum wheat (%)	0	1	15	72	12
HRS Wheat (%)	0	1	13	59	27

Source: North Dakota Agricultural Statistics Service

当該作柄レポートへのご質問・ご意見は下記宛てにお願い致します。

小川正晃: E-mail ogawa.max@omicnet.com